

2026年度大学院博士前期課程学内選考試験問題

研 究 科 名	科 目 名
文学研究科 人文学専攻 哲学歴史学専修	選択問題

哲学を専攻する者は、以下から 1 問を選んで論述しなさい。なお、選んだ問題の記号を最初に記すこと。

- A. 事実と価値の関係について、あなたの考えを述べなさい。
- B. 因果的決定論と意志の自由の関係について、あなたの考えを述べなさい。

歴史を専攻する者は、以下から 1 問を選んで論述しなさい。なお、選んだ問題の記号を最初に記すこと。

- A. 「会議外交」は 19 世紀のヨーロッパにおいて、どのような国際秩序や国家間関係を形成したか。その特徴と歴史的意義について、具体的な事例を取り上げながら論じなさい。
- B. 19 世紀のヨーロッパでは、民族的な自立を目指す運動がさまざまな地域で展開された。これらの運動が、既存の帝国や列強の外交政策に与えた影響について論じなさい。
- C. 文民統制（シビリアン＝コントロール）の観点から見たドイツ帝国の軍政関係の特質と、その歴史的帰結について論じなさい。
- D. 19 世紀以降のドイツにおける軍備需要や軍事体制が、経済構造に与えた影響および、国家主導による工業化の進展に果たした役割について論じなさい。

出題の意図および採点のポイント

哲学分野

<出題の意図>

哲学において論争的になっている問題に関する自分の考えを、その問題が生じた哲学的な文脈を踏まえながら、論旨の通った論証にもとづいて展開する能力を十分に備えているかを判定する。

<採点のポイント>

- ① 問題の意味内容や問題が生じた哲学的な文脈に関する正確な理解にもとづいて、自分の考えが提示されているか。
- ② 自分の考えが明確に示されているか。
- ③ 自分の考えが、論旨の通った論証にもとづいて提示されているか。

歴史学分野

<出題の意図>

歴史学における主要な歴史事象にみられる因果関係や歴史的意義について、理論的背景と具体的事例の双方を踏まえながら、論理的

に提示する能力を十分に備えているかを判定する。

<採点のポイント>

- ① 設問で示されている問題の主要な論点や歴史的背景について十分な理解が示されているか。
- ② 因果関係や歴史的意義が明確に示され、論旨が一貫した構成となっているか。